



# 第58期 報告書

平成23年1月1日から平成23年12月31日まで



## CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

---

P3 販売品目

---

P4 連結財務諸表

---

P5 会社データ

---

P6 株式情報

---

清和中央ホールディングス

# 株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成24年3月

代表取締役社長  
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第58期（平成23年1月1日から平成23年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第58期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による低迷から緩やかに回復しているものの、原子力発電所事故によるその後の影響、ギリシャに端を発した欧州ソブリン問題を背景とした金融市場の動揺による欧米景気の足踏み、新興国の成長鈍化、さらに、円高の長期化から、国内製造業は生産拠点を海外へ移転する動きが活発化するなど、厳し

い環境下にもかかわらず、国内景気は大きな落ち込みもなく、堅調に推移しました。

鉄鋼業界におきましては、年初は外需主導と建設向けの緩やかな回復基調にある中で東日本大震災が発生し、その後サプライチェーンの回復に伴って、国内の需要は震災前のレベルにまで回復してきましたが、鉄鋼資源価格の軟調やスクラップ価格の不安定な展開は依然として続いており、供給環境の不透明感による変化の激しい環境が続きました。こうした中、鉄鋼流通業界におきましては、国内需要面では底打ちのレベルにあると考えられるものの、海外環境の不透明感から短期間で鉄鋼価格が変動する展開となり、流通業者間の販売先獲得競争の激化は止まらず、厳しい状況が続きました。

このような経営環境下において、当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては販売量の確保に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は、420億19百万円と前期に比べ、9.9%の増収となりました。

利益面につきましては、清和鋼業(株)の在庫評価方法の変更に伴う粗利益の増加と中央鋼材(株)のコスト削減策が寄与した結果、営業利益は3億64百万円（前年同期は営業損失3億23百万円）、経常利益は6億62百万円（前年同期は経常損失41百万円）となり、震災による特別損失の計上があったものの、法人税等を差引いた当期純利益は、1億59百万円（前年同期は当期純損失6億30百万円）となりました。

## 今後の課題について

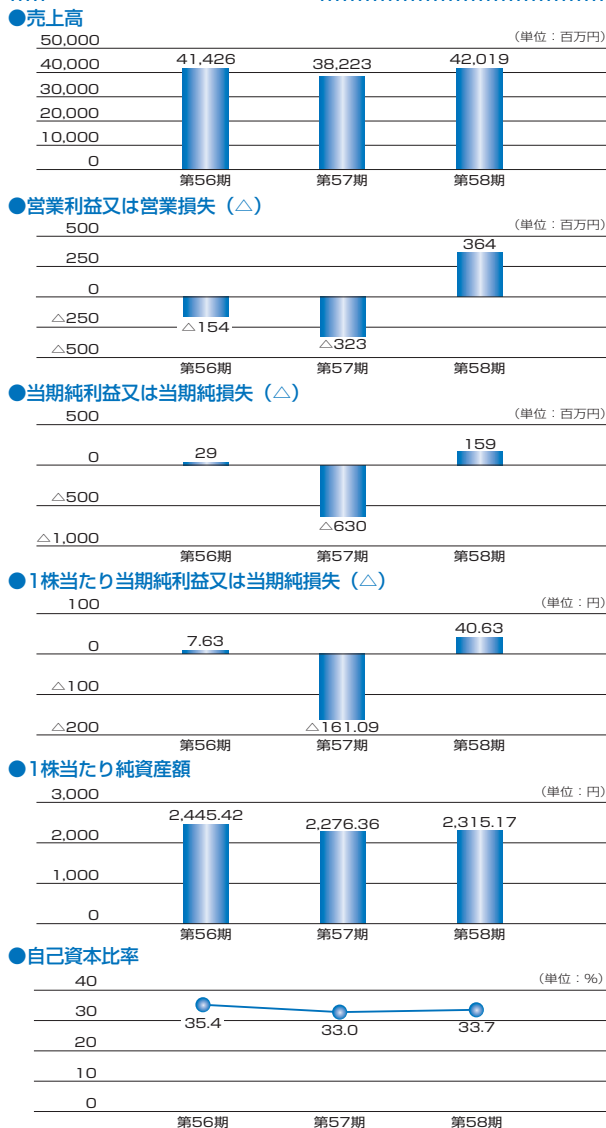
今後のわが国経済の見通しは、各種の政策効果などを背景に緩やかな回復が期待されるものの、長期化する円高や欧州財政債務問題、米国経済不安、新興国の成長鈍化など、2011年度からの課題は持ち越され、世界経済の先行きは厳しい中、製造業の海外移転に伴う空洞化懸念等、依然として予断を許さない状況が続くものと予想されます。

鉄鋼流通業界は、震災復興に伴う国内需要の回復期待があるものの、現状はリーマンショック以前の70%～80%の水準にとどまっており、健全な状況にあるとは言えず、鉄鋼市況の不透明感は継続し、引続き厳しい経営を余儀なくされる状況となっております。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

- ① 高炉原料価格の改定周期の短期化に伴う鉄鋼市況の変動に素早く対応すべく、短期対応でのよりきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供できるきめ細かい営業体制を一層充実し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

## 連結財務ハイライト



### 各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



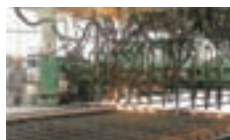
山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

### 鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

### 加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工  
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

### 工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 【連結貸借対照表】

科目	(単位:百万円)	
	当期 平成23年12月31日現在	前期 平成22年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	18,612	18,292
固定資産	8,286	8,715
有形固定資産	4,294	4,381
無形固定資産	177	365
投資その他の資産	3,814	3,967
資産合計	26,899	27,008
<b>負債の部</b>		
流動負債	15,785	15,904
固定負債	1,896	2,030
負債合計	17,682	17,935
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,854	8,715
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	7,540	7,401
自己株式	△23	△23
その他の包括利益累計額	211	198
その他有価証券評価差額金	211	198
少数株主持分	150	158
純資産合計	9,216	9,072
負債及び純資産合計	26,899	27,008

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【連結損益計算書】

科目	(単位:百万円)	
	当期 (平成23年1月1日から 平成23年12月31日まで)	前期 (平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで)
売上高	42,019	38,223
売上原価	38,406	35,109
売上総利益	3,613	3,113
販売費及び一般管理費	3,248	3,437
営業利益又は損失(△)	364	△323
営業外収益	409	426
営業外費用	111	143
経常利益又は損失(△)	662	△41
特別利益	7	25
特別損失	299	375
税金等調整前当期純利益又は損失(△)	370	△391
法人税、住民税及び事業税	218	195
法人税等調整額	△0	101
少数株主損益調整前当期純利益	152	—
少数株主損失	6	57
当期純利益又は損失(△)	159	△630

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【連結キャッシュ・フロー計算書】

科目	(単位:百万円)	
	当期 (平成23年1月1日から 平成23年12月31日まで)	前期 (平成22年1月1日から 平成22年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	290	△967
投資活動によるキャッシュ・フロー	278	△152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△659	390
現金及び現金同等物の減少額(△)	△91	△730
現金及び現金同等物の期首残高	1,043	1,773
現金及び現金同等物の期末残高	952	1,043

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【会社概要】 (平成23年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	7億3,580万円
従業員数	11名 (連結従業員数：174名)
主要な事業内容	当社グループは、当社および子会社6社で構成され、一般鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務も行っております。

### 【役員】 (平成23年12月31日現在)

代表取締役社長	阪上正章
常務取締役	阪上恵昭 管理本部長
取締役	西本雅昭 管理本部副本部長
取締役	後藤信三
常勤監査役	上山公
監査役	杉本武 税理士
監査役	八木千之

- (注) 1. 監査役上山 公、杉本 武の両氏は、社外監査役であります。  
 2. 監査役上山 公氏は、大阪証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。  
 3. 監査役杉本 武氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

### 【清和中央ホールディングス組織図】



#### ■ 連結子会社

##### 清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

##### 中央鋼材株式会社

〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 TEL：047-709-4300  
 NBF新浦安タワー 6階

##### 大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

##### 清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

#### ■ 非連結子会社

##### サンワ鋼材株式会社

〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111

##### 北進鋼材株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広2-53-6 TEL：03-3611-7161

### 【株式情報】 (平成23年12月31日現在)

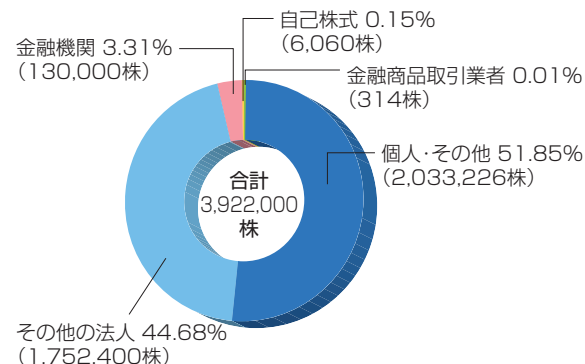
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 197名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
エスケー興産株式会社	495,800株	12.66%
株式会社ワイエムピー	486,100	12.41
阪上 正章	440,180	11.24
山口 久一	289,800	7.40
阪上 恵昭	281,400	7.19
阪上 寿美子	270,700	6.91
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66
株式会社メタルワン	100,000	2.55
山口興産株式会社	86,900	2.22

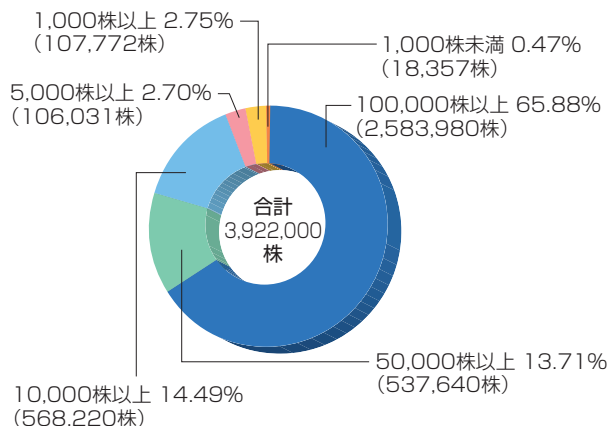
(注) 持株比率は自己株式(6,060株)を控除して計算しております。

### 【株式分布状況】 (平成23年12月31日現在)

#### ■所有者別株式分布状況



#### ■所有株式数別株式分布状況



# 株主メモ

## 事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

## 期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人

### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777（通話料無料）

## 上場証券取引所

大阪証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

## 公告の方法

### 電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

### （ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

### トップページ



### IR情報

